

8月29日 AM6:00 参加者7名が松本を出発し上高地へ向かう。上空は厚雲に覆われ、上高地に着く頃には、雨が降り出した。上高地アルペンホテルで準備を整え、AM8:00 西穂高岳登山口から登山を開始する。

うっそうとした林の中、湿ったジグザグの急坂を登る。次第に雨が上がり、低木帯を抜けて焼岳からの道と合流して、トリカブトやアザミの花々が咲く坂道を30分登ると、AM11:40 西穂山荘に到着、泊す。

山荘周辺は、濃霧が漂い視界が効かない。昼食は、外食堂で摂りながら、午後の登山行動を思案する。昼食後30分ほど登り、偵察を試みるが、明日を期待して山荘へ帰還する。



うっそうとした林の中を登る



ゴゼンタチバナ



トリカブト



眼下に垂れ込める雲海

翌30日 AM6:30 山荘を出発。曇り模様、上空には霧がかかり、眼下は雲海が低く垂れ込む。登り1時間で独標を通過、ここからいよいよ西穂高岳特徴の岩の痩せ尾根を登行。まず、三角錐形状のピラミッドピークへ登り、幾つかの岩稜線の突起を越えて、振り返れば、登ってきた岩峰のピークが霧の中、眼下に見え隠れする。さらに、前方仰げば、霧の中、山頂までの険しい山稜が幾重にも続く。



独標までの岩礫帯を登る



独標から続く岩稜線の突起



雷鳥



独標を超え、岩山稜を行く

そして、急傾斜の岩場30mを這うように登りきると、AM8:50 西穂高岳山頂2909mに全員見事に登頂する。「バンザーイ！おめでとう」。厳しい登攀に互いの健闘を称え、笑顔で握手を交わす。しかし展望は全く効かず、穂高岳主峰や槍ヶ岳も雲の中だった。



山頂までの険しい山稜



雷鳥



西穂高岳山頂2909mに全員見事に登頂

AM9:30 下山を開始。登ってきた痩せ尾根の往路を引き返し、下降する。AM11:30 西穂山荘に到着。ここで、昼食を摂り、PM12:30 下山を開始。往路と同じ森林の中の急坂を下降。PM3:30 上高地の登山口へ無事下山する。上高地アルペンホテルで、ひと風呂浴び、さっぱりしてPM4:00 出発。PM5:00 松本で最終解散とした。ご苦労様でした。「痩せた岩稜線の登攀に、緊張感と高度感を味わう登山だった。」